

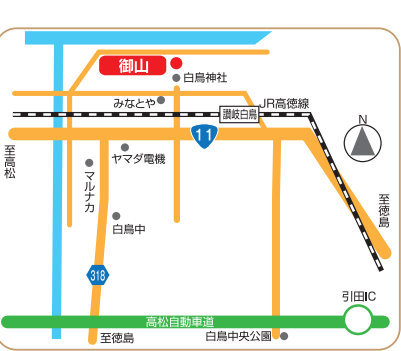
ぶらり東讃のまち。

日本一低い山「御山」(東かがわ市)



平成十六年、白鳥神社がある東かがわ市松原も床上、床下浸水の災害にあいました。その時、地元住民でこの松原地区でいつたいたどが高いかを調査したところ、白鳥都市計画図(平成七年)の中に一番高い3.6mを発見。町づくりに取り組んでいる「こま犬会」

その後、「御山」は「郷土史」にて確認され、平成17年8月7日に山開きを開催。平成17年11月18日に登山証を作成し、平成21年正月には5000名に登山証を発行。現在では18000名以上の方が登山した「御山」。日本一低い山として親しまれている御山ですが、宮城県にある日和山5.89mが東日本大震災により3.0mとなったことから、日本一ではなくなったものの、松原地区で



白鳥神社
香川県東かがわ市松原69



- ◆お車でおこしの場合／「引田IC」より車で約10分、「白鳥大内IC」より車で約10分
◆高速バスでおこしの場合／「高速引田バス停」よりタクシーで約10分
◆JRでおこしの場合／高徳線「讃岐白鳥駅」より徒歩約5分

香川アイスフェローズ(三木町)



トRESTA白山アイスアリーナをホームアリーナとする「香川アイスフェローズ」。1966年のチーム結成当初は、旧ホームアリーナ「高松国際スポーツパレス」の名前から「高松国際アイスホッケークラブ」のチーム名称で活動していました。しかし、1997年に旧ホームアリーナが閉館。2度チーム名称を変更し、2009年に現在の「南国四国香川県の氷上の仲間たち」を意味する「香川アイスフェローズ」のチーム名称になりました。1971年の国体で初のベスト8入り。2005年に開かれた第1回Jアイスウエストリーグでは、リーグ戦を全勝で勝ち進め、見事初代王座に輝きました。その力は衰えることなく、現在まで9連覇を達成しており、四国を代表するチームとしてファンに愛され続けています。チームスローガン『Win with

Respect』のもと、感謝の気持ちを忘れることなく、西日本だけにとどまらず、四国香川から日本一のクラブチームを目指し、地道に陸上トレーニング・氷上練習を重ねています。

今年9月に入部した香西慶人選手は、現役の香川高等専門学校4年生。小学校1年生の時にジュニアチームではじめてアイスホッケー。今では、陸上のスポーツにはないスピードと迫力にすっかり魅了され、香川アイスフェローズのディフェンダーとして活躍しています。「アイスホッケーのスピードと迫力をぜひ間近で見てください。入部して間もないですが、少しでもチームに貢献できるよう頑張ります」と。

香川アイスフェローズでは、選手たちが教える無料のスケート教室を開催しています。詳しくは香川アイスフェローズホームページをご



トRESTA白山アイスアリーナ
香川県木田郡三木町下高岡972-30
香川アイスフェローズHP <http://kagawa-icefellows.com/>



ご覧下さい。皆さんもぜひ、『氷上の格闘技』ともいわれるアイスホッケーの世界を体験してみたいかがでしょうか。

- ◆お車でおこしの場合／「さぬき三木IC」から車で約15分
◆高速バスでおこしの場合／「高速三木バス停」からタクシーで約15分
◆ことんでおこしの場合／長尾線「白山駅」から徒歩約1分

編集後記

☆表紙で紹介しました「行基のから風呂」。休憩をはさみながら短時間の入浴を何度か行えば、そうとうな発汗で心身ともにリフレッシュされます。地域の方々と雑談を交えながらのんびりする時間を体験できるのも、都市部のスーパー銭湯にはない魅力だと思います。東讃地区でしか味わえないみどころを、これからも発信していきたいと思っています。

☆この「から風呂」は奈良時代の高僧行基が讃岐の国に来た時に、もろ人の病気を治すために造ったと言われており、江戸時代には高松藩士もよく利用したことで有名です。行基は東大寺の大仏をはじめ、畿内に49の寺院を建てて伝道の拠点としただけでなく、各地で土木工事を起こし道を拓き、橋を架け、布施屋と呼ばれる旅人のための休憩・慰安施設、池、港、墓所などを各所に営んで民衆の福利救済にあたりました。また「行基図」と呼ばれる最古の全国道路図を作成し、民衆の旅に役立てられました。

☆仏教の教えにある「利他行(りたぎょう)」という思想は、自分のことよりも他者の救済を優先するという考え方で、行基や空海など僧侶は、災害や税の負担に苦しむ農民たちの悩みを取りのぞくために、道や橋、ため池をつくり、直すなど土木工事をおこなっていました。民衆の幸せづくりに尽くすという土木の原点を、身をもって示してくれた最初の土木技術者とも言われています。

☆わたしたちも「利他行」の精神を忘れずに、安全第一に高松自動車道の4車線化事業を進めてまいりますので、ご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。

《表紙モデル紹介》



今回表紙のモデルは、三本松高校1年の赤松舞さん(写真左)と三本松高校3年の水田寧々さん(写真右)です。最初は慣れない撮影に緊張している様子でしたが、少し変わったサウナを初体験し、「予想以上に熱い!!」などのおしゃべりをしながら楽しんでいました。実は、お二人はいとこ同士でとっても仲がよく、終始笑顔の絶えない撮影となりました。ご協力いただき、ありがとうございました!

NEXCO西日本 高松工事事務所では、高速道路に関する出前講座を行っています。内容については、「高速道路の整備効果」や「高機能舗装の仕組み」、「高速道路の標識について」、「トンネルの仕組み」などご相談に応じて対応してまいりますので、お問い合わせください。また、本紙へのご意見なども下記メールをご利用ください。

burari-tousan@w-nexco.co.jp 24時間受付

発行／西日本高速道路株式会社 四国支社 高松工事事務所
香川県高松市朝日町4-1-3